

【上映作品】

「第五福竜丸」(108分)

監督：新藤兼人、出演：宇野重吉・乙羽信子など

1954年(昭和29年)3月1日にアメリカ合衆国の水爆実験(キャッスル・ブラボー)で被ばくした第五福竜丸と、その船員たちの悲劇をドキュメンタリー調に描いた作品。

昭和29年(1954年)3月1日 午前3時42分、遠洋漁業に出ているマグロ漁船「第五福竜丸」の23人の船員たちは、ビキニ環礁の辺りで夜空に輝く閃光とキノコ雲を目撃し、空から降ってきた灰のようなものを浴びた。日が経つにつれ、船員たちは肌が黒ずんで体調に異変を感じ始めた。どうやら、ピカドン(原爆)に遭遇したらしいと気づく。それは、アメリカが警告なしに実施した水爆実験だったのだ。

「高知県被曝者の肖像、遠洋漁業の記憶2020」(60分)

監督：南木元 空 製作：高知アートプロジェクト2020採択事業

2020高知県芸術祭参加作品。1954年、太平洋マージナル諸島ビキニ環礁での水爆実験で被ばくした高知の元マグロ漁船員。この事件が、31年後の1985年、幡多高校ゼミナールのフィールドワークによって明らかになりました。映画は、被ばく者としてだけでなく、一人の人間、漁師としての人生を描いたドキュメンタリー映画です。

「今再び被ばくした元マグロ漁船員と遺族の証言を映像で記録する事が、今の事件として更新し、引き継ぎ、思考する事に繋がると考えています。」(南木元監督談)

【入場料】各地上映共通

一般前売り1,200円(中高生以上600円)

当日1,500円(中高生以上800円)

※前売り券は下記で取り扱っています。

- ・高新プレイガイド
- ・かるぼーと
- ・「ビキニデーin高知」実行委員会事務局団体

【上映場所】

▶2月28日(日) 室戸市

会場：保健福祉センター「やすらぎ」会議室

時間：10：00～「第五福竜丸」

13：30～「高知県被曝者の肖像、遠洋漁業の記憶2020」

▶3月13日(土) 高知市

会場：自由民権記念館(民権ホール)

時間：13：00～「第五福竜丸」

15：00～「高知県被曝者の肖像、遠洋漁業の記憶2020」

16：30～「第五福竜丸」

19：00～「高知県被曝者の肖像、遠洋漁業の記憶2020」

「ビキニデーin高知」申込書

申込み締切り：2021年2月末日

全体集会、全体集会のオンライン視聴、フィールドワークに参加を希望される方は「申込書」に記述の上、高知県原水協にファックス及び郵送してください。表面のQRコードからWebにアクセスし、申し込むこともできます。(注)コロナ感染状況で開催方法を変更する場合があります。

高知県原水協 【問合せ・送付先】
〒780-0850 高知市丸ノ内2-1-10 高知城ホール3F
TEL・FAX:088-875-3917

フリガナ			
名前			
参加を 申込む企画 (✓印を)	全体集会 1,500円	<input type="checkbox"/> 【会場参加】	<input type="checkbox"/> 【オンライン視聴】
	フィールドワーク 6,000円	<input type="checkbox"/> 【室戸コース】	<input type="checkbox"/> 【幡多コース】
連絡先	住所		
	連絡先電話番号	FAX	
	Eメールアドレス		

個人情報保護法に基づき、この申込内容を目的外に使用することはありません。

【全体集会のオンライン視聴を希望される方】後日、視聴用パスワードなど、参加マニュアルをお送りします。メールアドレスと電話番号を必ずご記入ください。

＝お願い＝
・コロナウイルス感染拡大防止のため、マスクの着用、入場の際の手指消毒をお願いします。
・宿泊については独自で確保していただきますようお願いいたします。

【参加費振込先】四国労金 高知支店 普通 2155591 高知県原水協

※全体集会の会場参加のみの場合は、当日受付でのお支払いも可能です。



ビキニデーin高知

私たちも応援します

2021年3月5日(金)～3月14日(日)



大石又七
(第五福竜丸・甲板員)



吉永小百合
(女優)



川崎 哲
(ピースボート共同代表・ICAN国際運営委員)



星 正治
(広島大学名誉教授・理学博士)



明神照男
(明神水産元会長)

3月6日(土)

「元マグロ漁船員」と語る
フィールドワーク

参加費：各コース6,000円

コース 室戸コース、幡多コース

写真展

3/5～3/14(3/8(月)休館) 高知市立自由民権記念館

映画上映

「第五福竜丸」「高知県被曝者の肖像、遠洋漁業の記憶2020」を2カ所で見逃さず
2/28(日) 室戸市保健福祉センター「やすらぎ」会議室
3/13(土) 自由民権記念館

3月7日(日)

全体集会

9：30～15：30

参加費：1,500円

会場 高知城ホール4階

パネルディスカッション
「ビキニ核被災者支援とこれからの運動」

記念講演

①「原爆症認定訴訟とビキニ被災者救済の展望」
講師：内藤雅義さん(日本反核法律家協会副会長)

②「核兵器の終わりの始まりー核兵器禁止条約発効後の世界と日本ー」
講師：川崎 哲さん
(ピースボート共同代表・ICAN国際運営委員)



最新情報は
HPをチェック!

高知県原水協

(公財)高知新聞厚生文化事業団助成事業

【主催】「ビキニデーin高知」実行委員会【事務局団体】太平洋核被災支援センター・ビキニ労災訴訟を支援する会・高知県原水爆対策協議会
【後援】高知県(高知県は公益に資する自由な議論の場の確保のため当該事業を支援しています。)、高知市、室戸市、土佐清水市、宿毛市、土佐市、黒潮町、NHK高知放送局、テレビ高知、RKC高知放送、さんさんテレビ、高知新聞社、朝日新聞高知総局、毎日新聞高知支局、読売新聞高知支局、原水爆禁止日本協議会

ビキニデーin高知

【開催目的】

2021年は核兵器禁止条約発効の年です。核兵器廃絶を願う世界のひと々と連帯し、核被災者支援の前進をはかる新たな年にしましょう。

1. ビキニ水爆実験で高知のマグロ漁船がのべ270隻も被災しました。「ビキニデーin高知」の開催を機に全国で元漁船員の救済を求める取り組みにしましょう。
2. ヒロシマ・ナガサキ・ビキニ・フクシマと核被災を被った日本・高知から、世界に核兵器廃絶と原発ゼロを発信しましょう。

【開催期間】

2021年3月5日(金)～3月14日(日)の10日間

「ビキニデーin高知」全体集会

(要申込)

開催日：3月7日(日) 9:30～15:30 (受付開始9:00)

会場：高知城ホール4F 大ホール (定員100名) ※定員100名を越えた場合は、2F会場での視聴になります。(定員50名)

参加費：1,500円(資料代込) 【オンライン参加1,500円】

オープニング

- 09:20 発表「ビキニの海は忘れない」 幡多高校生ゼミナール、OB・顧問の皆さん
09:30 紙芝居「ビキニの海のねがい」 宮川真幸さん(劇団「the・創」)

集会への基調報告

- 09:50 基調報告 山下正寿(太平洋核被災支援センター事務局長)

パネルディスカッション

- 10:00 「ビキニ核被災者支援とこれからの運動」
パネラー：開間 元さん(静岡県・生協きたはま診療所所長)、松原由香さん(毎日新聞記者)
濱田郁夫さん(太平洋核被災支援センター共同代表)、大野鉄平さん(ビキニ労災訴訟弁護団)
司会：松繁美和(高知県原水協事務局長)
- 12:00 昼食休憩

記念講演 I

- 13:00 「原爆症認定訴訟とビキニ被災事件救済の展望」

講師：内藤雅義さん(日本反核法律家協会副会長)



(講師紹介)東京都港区出身。被爆2世。ノーモアヒバクヤ東京弁護団長。1977年被爆者問題NGOシンポの年に弁護士となり、以来原爆投下と国の戦争責任を裁く国民法廷運動など被爆者問題に関与。薬害エイズ訴訟、ハンセン病訴訟や原爆症認定訴訟などに取り組む。

記念講演 II

- 14:00 「核兵器の終わりの始まりー核兵器禁止条約の発効後の世界と日本ー」

講師：川崎 哲さん(ピースボート共同代表・ICAN国際運営委員)



(講師紹介)東大法学部卒業後、外国人労働者・ホームレスの人権を守る活動に参加。その後、NGOピースボートに参加し、現在共同代表。2017年にノーベル平和賞を受賞した核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)の国際運営委員でもあり、被爆者とともに核兵器禁止条約発効に大きな役割を果たした。

エンディング

- 15:10 「ビキニ労災訴訟」原告団と弁護団紹介
15:20 「ビキニデーin高知」集会宣言
15:30 閉会

「元マグロ漁船員と語る」フィールドワーク (要申込)

開催日：3月6日(土)

コース：室戸コース、幡多コース

参加費：両コースとも6,000円

【室戸コース】集合時間：JR高知駅 9時30分

JR高知駅10:00出発～昼食～室戸岬水かけ地蔵・ジオパーク
～室戸漁業会館(予定)にて元船員、遺族と交流～室戸港見学～JR高知駅18:30着

【幡多コース】集合時間：JR高知駅 9時30分

JR高知駅10:00出発～明神水産見学～第五明賀丸被災船員と懇談～
昼食(鰹タタキ)～幡多ゼミナール館にて幡多ゼミOB・顧問と懇談～JR高知駅18:30着

写真展

核兵器禁止条約発効！「私たちは『核』にどう向き合うか」

開催期間：3月5日(金)～3月14日(日) 9:00～17:00

≪3月8日(月)休館、最終日は15:00まで≫

会場：自由民権記念館 自由ギャラリー

入場料：無料

展示内容

【マーシャル諸島核実験被災者写真】

写真家 豊崎博光さん

世界の核実験場、ウラン鉱石採掘場、原子力発電所などの施設とそれらが生み出した放射能に汚染された風下地域に住む被災者、環境と地域社会への影響などを取材。

【ビキニ核実験による

元マグロ漁船員被災者写真】

写真家 岡村啓佐さん

米国が太平洋・ビキニ環礁で行った一連の水爆実験で、マグロ漁船員らが被ばくした。その当事者や遺族を撮った写真集「NO NUKES ビキニの海は忘れない」を発刊。

【セミパラチンスク核実験被災者写真】

写真家 森住 卓さん

世界の核実験場、原発、イラクの劣化ウラン弾被害・経済制裁、沖縄の米軍基地など貴重な写真をレポートしている。

【福島原発事故から10年、

原発ゼロを願って】

森住 卓さん・岡村啓佐さん

【第五福竜丸展示館所蔵の関係資料展示】

【ヒロシマ・ナガサキ 原爆パネル展】



セミパラチンスク核実験被災者
森住 卓



セミパラチンスク核実験被災者
森住 卓



元マグロ漁船員被災者
岡村啓佐